



このごみ、何ごみ? しっかり分別できていますか

市では、ごみを可燃ごみ、不燃ごみ、有害ごみ、資源物、粗大ごみの5種類に分けて収集しています。資源物としてリサイクルできる紙類・ペットボトルや金属類を可燃ごみや不燃ごみとして出していないか。ごみを出す前に正しく分別できているか、もう一度確認してみましょう。
この特集のお問い合わせはクリーン推進課 ☎421-6768へ。

家庭から出るごみの排出量が増加傾向です

本市の人口が増加傾向にあるにもかかわらず、平成30年までは、市民の皆さまのご協力により家庭から出るごみの排出量は減少し続けていました。しかしながら、2年度は平成30年度と比べ、ごみの排出量が2,706t 増え、44,490t のごみが出されています。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、自宅で過ごす時間が多くなったことが原因と考えられています。

このような生活様式は、今後も継続することが想定されるため、家庭ごみの排出量は一定期間増加または現状維持となることが考えられます。

できるだけごみの発生を抑え、資源を有効に利用することで、環境への負荷が少ない「循環型社会」を実現することができます。

持続可能な豊かな社会を次世代に引き継いでいくためにも、ごみの分別などの自分ができることから始めましょう。

なぜごみを分別する必要があるの

ごみを正しく分別することで、ごみの中に含まれる資源を有効活用でき、循環型社会の実現につながります。

実際に焼却処理施設で燃やされているごみの約34%は紙類です。中にはリサイクルできるものも含まれているため、これらを資源物として分別することは、可燃ごみを減らすことにつながります。

ごみの分別方法は、市ホームページに掲載の「家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方」か市役所クリーン推進課、清掃セン

ター、支所・連絡所で配布している冊子をご覧ください。右のコードからも見ることができます。



ごみ袋に入れる前にもう一度確認を

2年度に行ったごみの組成分析では、可燃ごみの約25%が生ごみ類でした。生ごみ類には水分が多く含まれています。

野菜の皮を洗う前に剥いたり、三角コーナーの水切り袋を絞ってから捨てたりするなどの工夫をすることにより、水分を減らすことができます。ごみを出す際の負担を減らし、腐敗や悪臭を防ぐことにもつながるので、ごみ袋へ入れる前に、しっかり水分を切ったか、もう一度確認をしてみましょう。

分別の際の注意点を下の表にまとめましたので、参考にしてください。

意外と知らない

八千代市での分別方法

分別区分と主な品目、出し方のルールを下の表で確認し、適正な分別を。上記の「家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方」のページを見ても分からない場合は、クリーン推進課へお問い合わせください。

■家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方より抜粋

分別区分	主な品目	出し方のルール
資源物	びん類 飲料・食品用(食用油、調味料、梅酒など)のびん、化粧品のびん	・中身をカラにして、すすいでから収集用コンテナに直接入れてください
	缶・金属類 飲料・食品用の缶、スプレー缶、なべ、やかん、フライパンなど	・中身をカラにして、すすいでから収集用コンテナに直接入れてください ・スプレー缶は、穴を開けずに中身を使い切ってから収集用コンテナに直接入れてください。ガスを抜く際は、屋外等の風通しが良く火の気のないところで行ってください
	ペットボトル 飲料・食品用のペットボトル ※右の識別表示マークがついた無色透明のもの	・キャップを外してラベルを剥がし、中をすすぎ軽く漬してから、収集用網袋に直接入れてください。また、キャップとラベル、油分が取れない・汚れのひどいペットボトル、着色されたペットボトルは可燃ごみとして、出してください
	紙類 新聞紙、雑誌類、ダンボール、雑がみ	・品目ごとに分けて、ひもで十字に縛って出してください。箱状のものはたたんでください
	紙パック 牛乳や各種飲料の紙パック	・中をすすぎ、平たく伸ばし乾かしてから、ひもで十字に縛って出してください ・お酒の紙パックなど、内側が銀色のパックは可燃ごみとして出してください
	布類 古着、着物、タオル、毛布、シーツなど	・たたんで、ひもで十字に縛って出してください
可燃ごみ	台所の生ごみ類、資源物として出せない紙類・布類、プラスチック・ビニール・ゴム類、革製品、草木類など	・生ごみは水分を切ってから出してください ・植木の枝(太さ7cm以下で長さ50cm以下)に限っては、直径30cm以下にひもで束ねて出せます。指定ごみ袋は必要ありません※一回に5束程度まで
不燃・有害ごみ	【不燃ごみ】 小型電化製品、小型家庭雑貨、ガラス類・陶磁器類など	・刃物や割れたガラスなど危険なものは、新聞紙などで包み中身が分かるようマジックペンなどで「刃物」「割れ物」などと記入し、危険防止の処理をしてください ・ライター、びん(薬品等)などは、中身をカラにして出してください
	【有害ごみ】 蛍光管、水銀体温計、乾電池など	・蛍光管は指定ごみ袋からはみ出しても、袋の口を縛って出すことができます
粗大ごみ	こたつ、ベッド、布団、収納家具など	・20リットル用の指定ごみ袋の口が縛れない、または、はみ出してしまうものは粗大ごみとして出してください

POINT

資源物として回収する布類は、雨の日や地面が濡れている日に出されますと、濡れたり地面から湿気を吸ったりしてカビが生え、リサイクルすることができなくなります。

また、布類と同じ日に回収している新聞紙やダンボールなどの紙類も良い状態のままリサイクルするため、なるべく雨の日は避けて出してください。



POINT

資源物に出せない紙類もあります。以下は可燃ごみです。

- ▶臭いや汚れのある紙
- ▶シールや圧着はがき等の粘着物を含む紙
- ▶レシート等の感熱紙
- ▶かばんや靴などの詰め物など

POINT

不燃ごみと有害ごみは同じ指定ごみ袋で同じ収集日に出せます。

POINT

乾電池に限り、指定ごみ袋の外装袋などの透明な袋で出すことができます。